

# 12月くるみぐみだよ!

担当：村本美穂 田中陽子

早いもので、今年も最後の月となりました。自然の変化、行事への取り組みなどから、冬の訪れを感じます。慌ただしい師走ですが、少し「ゆっくり」を意識して、子どもたちと「冬」を味わう時間を大切に過ごしていきたいと思えます。

これからやって来る本格的な寒さに負けないように、健康管理にも注意していきたいですね。

## 12月の行事

- ・4日(水) 火災訓練
- ・7日(土) 親子餅つき大会
- ・11日(水) 交通訓練
- ・14日(土) 保育園説明会 ハーモニーホール
- ・17日(火) お楽しみ会/クリスマス会
- ・18日(水) ぶどう組冬合宿楽しんでねの会
- ・20日(金) ぶどう組冬合宿お帰りの会
- ・26日(木) マラソン大会(見学)
- ・28日(土) ~1月4日(土) 年末年始休暇

## ●今月の歌

もちつき ふゆがきたばい たきび こんこんくしゃん ジングルベル あわてんぼうのサンタクロース お正月

## ●今月のわらべうた

ちよちよち いっぽんばし ととけっこー  
おでんでんぐるま ぜんぜがのんの ちゅっちゅこっことま

## ●今月の絵本

たまごのあかちゃん おててばちばち おくちはどーこ  
ないないあった あそびましょう ごあいさつあそび

## ◇運動 ~登ったり下りたり楽しいな~

保育園の近くに小さい橋があるのですが、この時期になるとどんぐりがたくさん落ちています。早速みんなで拾いに行きました。橋に行くには少し急な斜面を下りなければなりません。かける君が始めに降りてみました。下り坂でおととととなるくらいの坂です。



見ている方はハラハラするのですが、かける君は楽しかったようでもう一度上って下ります。それを見てりん君も上りはじめました。二人

で、おととと、となるのが楽しくなったようで何度も何度も上ったり下りたりを繰り返して遊んでいました。自分の体をこう動かすようになるのか、と確かめているようです。幼児期に向かって、自分の体を使う喜びを感じながら、自我の土台を築いているのかもしれない。

## ◇集団 ~みんなでリズムあそび~

遠足の日は、田上小学校に行って、みんなで(全クラスで)リズム遊びをしました。ぶどうさんのリズムを間近で見ることができたり、いつもより広い空間で、お兄さんお姉さんたちとするとというだけで気持ちがウキウキします。くるみさんも、みんなに交じってダイナミックリズムをしたり、未満児リズムを楽しみました。園に戻ってからは、ホールでお弁当です。全クラスそろって食べることも初めてで、パクパクとあつという間に食べてしまっていた子ども達。外はあいにくの天気でしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました!朝からお弁当作りもお世話になりました!



## ◇絵本

今月は『おくちはどーこ』を読んできました。「さっちゃん、さっちゃん、おくちはどーこ、どこでしょね」で始まり、顔のいろいろな部分を当てていく絵本です。顔の部分を表現するときに、「ぷんぷくおはな、ぴんぴらおみみ、」と、個性的な擬音も動物に合わせて表現してあり、リズム感があって歌うように読めるのも楽しさの一つです。子ども達も、自分の目や鼻、口を指でさしたり、絵を触りに来たり、大人が目や耳を触りに来たりして楽しんでいました。描かれている絵も優しく、子どもと一緒に「〇〇はどーこ?」と遊びながら楽しめる絵本です。

## ●造形

ぶどうさんが育てたお芋を使ってお芋スタンプをしました。スタンプ遊びの要領で手に持ってペタンペタンとして見せると、興味を示して手を伸ばします。「ポンポンポン」と声を出しながらお芋スタンプを楽しんだ子どもたち。色がつくごとに顔を紙に近づけて見ていました。



こはるさんも、保育士と一緒に挑戦!初めての感触に「おっ」と、表情を変えながらも手に持ったお芋を見たり、押されたスタンプの模様を見ていました。

## ◇生活 ●食事

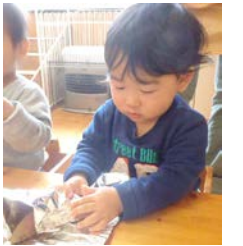
りん君、ななみさん、かける君とスプーンの使い方が上手になり、大人の介助も少なくなってきました。お汁があるときもスプーンですくって飲んだり、お椀を持って飲んだりしています。時には、お汁を

手づかみで食べようとする姿もありますが、そういう時は、注意をするのではなく、同じテーブルに座っている子を「〇〇さん、手で持って飲めるようになったね」「じょうずになったね」と声を掛け、周りに気付かせると、その子を見てやってみようとしています。すくってもこぼれてしまうときは、そっと手を添えて一緒に口に運んであげたりもしています。また、おかずだけ先になくなったりするときは、介助用のスプーンでご飯を口に運んであげながら、偏食がないように配慮しています。



## ~初めてのクッキング!~

みんなで収穫したお芋でクッキングに挑戦しました!絵本『さつまのおいも』を読んで、クッキング開始!と思っているところへ、さつまのおいもがやってきました。じーっと、お芋を見つめる子ども達に、「ぼくをおいしくしてね」と、お芋に声を掛けられちょっと驚いた様子の子も達でした。クッキング自体は、アルミでお芋を巻くだけですが、保育士が目の前で巻いて見せると、「はやく、はやく」というように、手をバンバンさせて待っていました。自分たちでまいたお芋を給食室へ持って行き、「焼いてください」とお願いしてきました。おやつの中にはおいしそうな匂いがしてきました。全クラスそろって、お芋パーティーです。秋の味覚を五感を使って楽しめました!



## ●自然

どんぐりさんと一緒に、温泉広場の裏山へお散歩に行きました。ベビーカーに乗って来ていた子ども達は、初めて歩いてみることにしました。実際に歩いてみると周りの木々も大きく感じるのでしょうか、上を見上げたり、少し薄暗く感じるのもちょっぴり不安そうな表情をしていたかける君です。だけど、何も気にすることもなく歩くどんぐりさんの姿を見て、保育士の手をつなぎながら前へ進んでいました。山から流れる水の溜まり場に着くとカニを発見!ちょっと怖いと感じるどんぐりさんは、木の枝を見つけてきてつんつんしたり、眺めるだけなのですが、まだ何もわからないくるみさんの子は違います。りん君やかける君、ななみさんは物怖じすることなく手をだし触っていました。ななみさんhんは、ベビーカーにいた、れなさんやこはるさんにも手に持って見せてくれていました。



●言語・認識

～自我の芽生え＝「イヤ」の連発～

1歳半ごろになると、「イヤ」という言葉を獲得し、それを連発するようになります。大人の言葉に対して、なんでも「イヤ」と応えるかのようにさえ思えます。でも、これは、大切な1歳半ごろの発達特徴です。自我が芽生えてきた証拠なのです！



1歳半ごろになると、自我が芽生え、「自分」という意識が少しですが頭を持ち上げてきます。「大人の言いなりにはならないぞ。自分で決めたいんだから」という気持ちが芽生えてきたのです。なので大人から言われる命令形の言葉が大嫌いになります。「～しなさい」と言われると、必ず、「イヤ」と反応します。そうでもないときでも、状況がよくわからない場合には、とりあえず「イヤ」と言います。子どもの言葉の理解はよくなっているのに、大人の方は「なんで」と、子育てに難しさを感じるようになる時期でもあります。

「おはよう」→「イヤ」、積み木で遊ぼうか→「イヤ」、こっちは



おいでよ→「イヤ」、「パンツはこうよ」→「イヤ」。まさに「イヤ」「イヤ」の連発です。パンツを持って近づこうとすると「イヤ」と言って逃げ出します。追いかけると、余計に逃げます。そして、追いかけてくるのを期待する

かのように後ろを振り向きまわります。わざと、子どもを追い抜いてみると、「おや？」と思いつつも、今度は大人を追いかけてきました。大人と関わることが「イヤ」、パンツをはくことが「イヤ」なのでもなかったのです。とにかく大人の言いなりになるのが「イヤ」だったので。そんなとき、子どもの自己主張を受け止めて、自己決定させてあげるといいと言われています。「このパンツと、このパンツと、どっちがいい？」と選ばせてあげるのは、1歳半ごろは、2つの物を見比べる力を獲得しています。なので「どっちがいい？」と聞かれると、ちゃんと見比べて好きな方を選びます。自分で選んで決めたのだから納得してはきます。

「イヤ」「イヤ」を連発するようになったら、できるだけ選択場面を多く設定し、自己決定させてあげるといいですね。2歳ごろまでは、これで行動の切り替えが上手いくことが多いようです。お家でも、「イヤ」「イヤ」の連発が始まったら、「どっちがいい？」をやってみて下さい！



平成 25 年度 くるみ組 12月の目標

- ・体をしっかり使って遊ぶ
- ・行動意欲を広げていく
- ・戸外に出て自然に触れて遊ぶ

領域	1歳3か月～	11ヶ月～	8か月～
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンを手に持たせ、道具の認識を促していく</li> <li>・自分で食べたい気持ちを大切に受けとめ、様子を見て介助し、充分食べられるようにしていく（子どもが意欲的に食べられるようスプーンは2本用意する）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コップを持って飲む</li> <li>・3回食に移行</li> <li>・自分で食べたい気持ちを受けとめ、様子を見て介助し、充分食べられるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持って食べられる環境にしていく（おやつから）</li> <li>・いただきます、ごちそうさまをする</li> </ul>
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尿意を感じたら保育者に伝えられるように子どもの様子に気を配る（出たら手で押さえたり、簡単な言葉で知らせていく）</li> <li>・個々の排泄の間隔をつかんで、促したり活動の前後で促したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の節目におまるに座る</li> <li>・パンツで過ごす</li> <li>・オマルに座る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おむつ交換の際は、豊かな表情で接し、優しく声を掛けてスキンシップをする</li> </ul>
睡眠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べたら眠るというリズムにしていく</li> <li>・一人で布団の中に入り、静かに眠れるようにしていく</li> <li>・安心して眠れるようにそばにつく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回睡眠のリズムを整える</li> <li>・起きている時間しっかりと遊びぐっすり気持ちよく眠れるようにしていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前、午後とも眠れるようにする</li> </ul>
身辺自立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でしようとする気持ちを大事にしながら一緒に手伝い楽しんで着脱する</li> <li>・汚れ物をバケツに入れることを意識していく</li> <li>・タンスからパンツを取り出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉掛けをしながら、着脱を進める</li> <li>・声を掛けながら少しづつ手を添わせていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめにオムツを換え気持ちよさを知らせる</li> </ul>
言語認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で遊びを見つけ、物と関わってじっくりあそぶ</li> <li>・大人の言葉を模倣し、発語する</li> <li>・生活に密着した言葉が分かり始める</li> <li>・自分の名前を呼ばれるとわかる</li> <li>・一語文、ジャーゴンを話す</li> <li>・自分の要求を返す「イヤ」</li> <li>・マークを意識していく</li> <li>・簡単なみたてあそびをする</li> <li>・まねっこあそびをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マンマンマン、ナンナンナン、ダダダダダ」など切れ目のない喃語を発する</li> <li>・大好きな大人の指さしで、物を見つける</li> <li>・自分の名前を呼ばれるとわかる</li> <li>・自らあそびをして見せる（いないいないばあ）</li> <li>・深さ、距離、高さを知り始める</li> <li>・ちょうだい・どうぞの遊びが出来る（11ヶ月～）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あやされると「ウグウグ」など声を出す</li> <li>・「アーウー」の声が出る</li> <li>・「キャッキャッ」とはしゃぐ</li> <li>・自由に追視が出来る</li> <li>・保育士の歌や動作を喜んで見たり聞いたりする</li> </ul>
運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深さ、距離、高さを知り始め、見通しが解りはじめる</li> <li>・箱などを押して歩いたり、高這いで目標に向かって進む</li> <li>・階段を四つ這い、高這いで昇り降りすることができ</li> <li>・障害物を乗り越えて、好きな人や物のところへ近づける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人が身体を使った揺さぶり遊びをしていく</li> <li>・子どもの力に応じた階段上り、斜面のぼり、起伏のある場所での這い這い活動をしていく（個々の這い這いの状況をつかむ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが興味を持つおもちゃを前に置き、這い這いを引き出す</li> </ul>
手指探索	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さい物を、親指と人差し指でつまむ</li> <li>・物を入れる、かぶせる、乗せる、合わせるなどできる</li> <li>・鉛筆やペンを逆に持って打ち付けたり、左右の往復運動をして殴り書きができるようになる</li> <li>・左右それぞれの手で2つの物を持ってた上で他者に渡せる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃを媒介にしてあやし遊ぶ</li> <li>・簡単な手遊びをしていく</li> <li>・「ハイ」と言って物を渡し、「ハイ」と言って返してもらうことを要求する</li> <li>・大人と一体となって、欲しい物へ手差しをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚、聴覚、手の協応が十分に出来る（見つけたもの取る、持ちかえる）</li> </ul>
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと同じ行動をして共感して遊ぶ</li> <li>・友だちの名前と顔が一致する</li> <li>・自分の欲しいものを主張する</li> <li>・友だちを区別してとらえる（自分より小さい・同じ・大きい）（1歳6か月）</li> <li>・友だちを求めあう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に物を私始める（11か月）</li> <li>・相手だけでなく相手のしていることにも興味を示す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人にイナイイナイバーをしてもらって楽しむ</li> <li>・大人と関わりを楽しむ</li> <li>・人見知りをする</li> </ul>
描画造形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な素材で描くことを楽しむ</li> <li>・季節にあった製作をする きのこ（指スタンプ）</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の歌を楽しむ</li> <li>・赤ちゃん体操や動きに合わせて歌ったり、柔らかい声で静かに歌う</li> <li>・子守唄、わらべうたも歌っていく</li> </ul>		
絵本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の時間を、大人も子どもも楽しむ</li> <li>・絵本に興味を持ち、指差したり、真似したり、集中してみる（聞く力、言葉の獲得）</li> <li>・大人の援助で2人位関わってあそぶ</li> </ul>		
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探索活動を保障し、安全に気を配る</li> <li>・赤ちゃん体操をする</li> <li>・外気浴</li> <li>・誤飲に注意する（直径3.5cm以下の物は置かない）</li> <li>・環境整備</li> <li>・病気の時（発熱、下痢、嘔吐）の対応情報を伝える</li> <li>・おもちゃや日用品の洗浄・衣服の調節をする</li> </ul>		